

## 研究経過報告（平成2年9月—平成3年8月）

原 岡 一 馬

この1年間に行った研究活動の概要を述べることにする。

著書の執筆関係については、

- (1) 『心理学研究の方法と問題』, 1990, ナカニシヤ出版 (9月)
- (2) 「職場教育訓練の基本的考え方と進め方」, 1990, 鎌田勝編『箴の仕方と現場における教育の進め方』アイ・エヌ・ジー出版部, Pp. 189-208. (10月) の2冊を執筆した。

また、辞典執筆としては、三宅和夫, 北尾倫彦, 小嶋委夫『教育心理学小辞典』有斐閣, 1991の中での「態度」「態度尺度」「態度測定」「態度変容」「社会的態度態度尺度」などの項目を執筆した。

研究論文については、

- (1) 「教師の成長と役割意識に関する研究」名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科—1990, Vol. 37, 1-22. (12月)
- (2) お金に対する態度と価値志向 I —態度の構造と態度尺度の構造—, 名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科—1990, Vol. 37, 199-216. (12月)
- (3) Perceived teacher's expectations, causal attribution of test results and pupils' motivation The

Japanese Journal of Experimental Psychology, 1991, Vol. 30, No. 3, 229-241.

などの3論文を発表した。

教育・心理関係雑誌論文には、

- (1) 民主的リーダーの育て方, 「児童心理」, 金子書房, 1991, Vol. 45, 9, No. 7, 78-82. がある。

学会発表関係では、

- (1) 「お金に対する態度と価値志向 I」日本社会心理学会第31回大会発表 (論文集134-135. 1990年9月)
- (2) 「教師の自己成長に関する研究 II」日本教育心理学会第32回総会研究発表 (論文集 P. 312, 1990年10月)
- (3) 「自己をめぐる重要理論—個人と集団の関係性を求めて—」日本グループ・ダイナミックス第38回大会学会シンポジウム司会者 (1990年11月) などの研究発表を行った。

その他, 1990年12月20日より中国湖北省青年心理研究所客座研究員となり, 1991年5月には, 中国社会科学院, 北京社会科学院, 北京師範大学, 北京航空航天大学, 中国科学院, 杭州大学, 杭州社会科学院, 上海社会科学院, 華東師範大学などの心理学研究室を訪れ研究に関する討議を行った。